

平成 20 年度事務事業評価表(団体運営費補助用)

①事務事業名		担当	部課コード	040300	TEL	2998-9116
事業コード	障害児を守る所沢連絡会補助金	担当部課	保健福祉部 障害福祉課			
040303		グループ	総務担当			
補助開始年度		昭和	48	年度	→	終了予定年度 平成 年度

②事業の内容	根拠法令	所沢市補助金交付規則					
	分野別計画・指針	所沢市障害者計画					
	関連・類似事業	各障害者団体への補助事業(障害福祉課)、団体への補助事業					
	総合計画の体系	政策	第3章 豊かな心で健やかに暮らせる支え合いのまち	施策	4節 障害者福祉	中柱 1 参加と協働の促進	小柱 (2) 市民参加による福祉活動の推進
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ						
	コード	ユニバーサルデザインの推進		コード	コード		
1311							
補助開始の背景	身体障害者の自立と社会参加促進を図ることを目的に昭和26年に施行された身体障害者福祉法の考えに基づき、障害者の自立促進を目指して会を運営している障害者団体に補助を行うことで、福祉の増進を図ることを目的に開始された。						
補助の目的	障害者の自立及び社会参加の促進を図る。また、この目的のために事業を展開している団体の育成を図る。				団体への加盟数		
団体における実施事業の概要	会報の発行(年4回以上)による広報活動や、各団体との協働、市の施策への協力(障害者施策推進協議会、交通バリアフリー)、身体障害者デイケア施設「トリプルナインみんなの家」の運営等、幅広く事業を展開している。				70	単位 人	

③経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	補助金支出額当初予算		65	65	61
	補助額決算 (見込み含む)		65	65	
	臨時職員賃金		人	人	
	正規職員人件費		0.03 人	0.03 人	282
	事業費合計		341	347	
	市民一人当たり(単位:円)		1.0	1.0	

④指	団体活動実績	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標
		機関紙発行回数	実績報告による	回	5	9		
	役員会実施回数	実績報告による	回	10	17			
	成果分析	総実施事業数	実績報告による	回	目標値 80	80		
				%	実績 81	96		
				達成率	101.3	120.0	実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2	1

⑤一次評価	補助金の有効性	評価項目	総合計画への貢献度	<input type="checkbox"/> 貢献度は高い	<input checked="" type="checkbox"/> ある程度貢献している	<input type="checkbox"/> 貢献度は低い	
		成果分析に基づく目的の達成度	<input type="checkbox"/> 達成度は高い	<input type="checkbox"/> ある程度達成している	<input type="checkbox"/> 達成度は低い		
		団体活動の自主性	<input checked="" type="checkbox"/> 自主性は高い	<input type="checkbox"/> ある程度自主的である	<input type="checkbox"/> 自主性は低い		
		事業費に占める補助金の割合	<input type="checkbox"/> 81%以上	<input type="checkbox"/> 61%~80%	<input type="checkbox"/> 41%~60%	<input checked="" type="checkbox"/> 21%~40%	<input type="checkbox"/> 20%以下
		活動内容及び会計処理の適切さ	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 改善余地がある	<input type="checkbox"/> 改善の余地が大きい		
		今後の必要性	<input type="checkbox"/> 増大する	<input type="checkbox"/> 減少する	<input checked="" type="checkbox"/> 変わらない		
	H20 目標設定	目標項目	団体活動の活性化	達成水準	総実施事業数90を目指す。	時期	平成21年3月
	H21予算の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状通り	<input type="checkbox"/> 増額	<input type="checkbox"/> 減額	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 終了	
	上記評価理由(補助金の有効性及び予算の方向性)	市の施策への参加や、広報活動、デイケア施設の運営等、障害者福祉の向上に向け幅広い事業を展開しており、市は引き続き補助金の交付を通じ、団体の活動を支援していく必要がある。なお、厳しい財政状況下、補助金額については平成14年度と17年度に10%減、平成20年度に5%減を実施したところであり、21年度は現状の支援(61,000円)を行う。					
	評価日	平成20年6月2日	記入者職氏名	障害福祉課長 森田 昇			

⑥二次評価	次年度見込まれる貢献度	部内優先順位...	位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
	評価理由	総合計画上位目標							<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業
	評価日	市長マニフェスト							<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業

⑦個別計画の方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ...	無し	計画コード	
	施策の体系	施策の方向			
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ...	無し	計画コード	
	基本目標				
	主要課題				
施策の方向					